

大阪維新の会

おおさかいしんのかい

大阪をひとつに。

大阪の成長を止めるな。

One Osaka!

維新ならやれる。維新だからできる。

大阪維新の会

おおさかいしんのかい

目次

- P01 目次 / はじめに
- P02 「大阪都構想」(府市統合・特別区設置)の実現
及び、「副首都大阪」としての地位の確立
- P03 大阪のポテンシャルを引き出す成長戦略
- P04 スリムな行政を実現する行財政改革
- P05 厳しい将来推計に正面から向き合う(参考)
- P06 他都市を圧倒する「教育・保育・子育て支援」
- P07 大規模災害を想定した「都市防災力の強化」
- P08 「健康長寿都市」の実現と安心安全の街づくり
- P09 未来を担う子供が笑う大阪
- P10 いのち輝く未来社会をデザイン

はじめに

現在、大阪府市においては、大阪維新の会の知事・市長による府市連携の取組みによって、様々な改革・施策を実現してきたことにより、来阪外国人旅行客が毎年過去最高を更新する伸びを見せるなど、各種の指標において、その成長が実感できる状況となってきています。

また、昨今は「2025年国際博覧会の大阪・関西」の誘致決定、本年6月末の「G20サミット首脳会議」の大阪開催、国におけるIR実施法の制定といった、ビッグプロジェクトの進展が見られるとともに、大阪市営地下鉄・バスの民営化の実現など、これまで掲げてきた成長戦略が実を結びつつあり、今後の大阪が益々、活気が溢れる都市になることが見込まれます。この流れを持続可能で確かなものとするには、大阪府庁と大阪市役所の統合・再編を行い仕事の役割分担を明確にした上で、都市の成長戦略を一本化する必要があります。

「大阪都構想」の実現により、広域行政を担う「大阪都」と基礎自治行政を担う「特別区」をつくることで、大阪の成長を加速させていくとともに、その成長の果実を住民の皆様の身近な特別区における住民サービスの拡充につなげたいと考えています。

今後、ますますグローバル化が進展し、多様化への対応が必要とされる中、「Osaka(大阪)」が“World City(世界都市)”として、日本の成長を牽引する程の国際競争力を高め、その発展により得られる果実で、福祉、医療、教育、安心・安全等の施策や行政サービスを充実させ、府民生活の向上を図り、府民一人ひとりが、健康で、長寿で、豊かで、輝く人生を送ることができる未来を実現します。



One Osaka!

大阪をひとつに

「大阪都構想」(府市統合・特別区設置)の実現
及び、「副首都大阪」としての地位の確立

●「大阪都構想」(府市統合・特別区設置)の実現

大阪府庁と大阪市役所の統合・再編を行い、広域行政を担う「大阪都」と基礎自治行政を担う「特別区」をつくることで、大阪府市の方角性を恒久的に一つにし、大阪を成長させるとともに、その成長の果実を、住民に身近な特別区における住民サービスの拡充につなげていきます。

●「副首都大阪」としての地位の確立

東京一極集中の打破と首都機能のバックアップを担う唯一の都市として副首都大阪の地位を確立します。

- ◆大阪府と大阪市の広域行政機能を一元化(府市統合)することで、大阪の都市力を強化し、一人の首長(リーダー)のもとで、成長戦略を迅速に実行できる行政の仕組みを構築します。
- ◆大阪市域を特別区に再編し、いまの行政区長とは異なり、選挙で選ばれた区長が住民の意見を反映したきめ細やかな施策を実行し、住民自治の拡充を図ります。
- ◆上記を実現するため、大都市制度(特別区設置)協議会で、制度設計図である協定書をまとめ上げ、両議会で可決した後、大阪市民による住民投票を実施します。
- ◆西日本の中心都市として企業集積を図るとともに、首都機能の一部移転などを国に対して要望していきます。

大阪のポテンシャルを引き出す成長戦略

世界から大阪へ 「人・モノ・お金・イノベーション」を呼び込む

維新府政・市政の誕生以来、大阪の経済は確実に伸びてきています。
この流れを止めない為にも、大阪府・市が一体となって未来への投資を続け、豊かな魅力を備えた国際都市へとさらなる成長を実現します。

- ◆ 関西国際空港のうめきた直結化による利便性向上と、G20サミット、ラグビーW杯、2025万博などの国際イベントを通じた発信力強化による来阪外国人旅行者数の増を目指します。

【実績】

158万人(2011年)⇒ **1110万人**(2017年)**7倍に増加**(増加率 全国1位)

- ◆ 経済活動の基盤を支える都市インフラの強化を推し進め、在阪企業の競争力を高めます。

【実績】

淀川左岸線、大和川右岸線などの環状道路整備
御堂筋線の延伸、なにわ筋線の事業化

- ◆ イノベーションの推進と新たな産業の創出

うめきたグランフロント内に設置した大阪イノベーション・ハブを中心にこれまで進めてきた創業支援、スタートアップをうめきた2期事業によってさらに加速させます。また、2024年には夢洲にIRの開業を実現し、大阪に新たな超巨大産業を誘致することで、大阪経済の起爆剤とします。

【実績】**有効求人倍率** 0.94(2008年) ⇒ **1.57**(2017年)



スリムな行政を実現する 行財政改革

持続可能都市として発展する大阪へ

少子高齢化と人口減少が同時に到来する
厳しい将来見通しを正面から受けとめ、
前例にとらわれない柔軟な発想で
行財政改革を進めます。

古い政治を壊す。新しい政治を創る。



- ◆ 民間にできる事は民間に仕事を解放し、民間活力を押し上げ、活発な経済活動を促します。

【実績】

大阪市営地下鉄の民営化
大阪城公園・天王寺公園などの大規模公園における
PMO(民間企業による運営)事業 など



- ◆ 水道給水事業など公共性の高い分野においても、施設は公が保有しながら運転、維持、管理業務などを民間移管するなど、管理監督機能を保持しつつ民間の効率的な運営を実現します。

【実績】

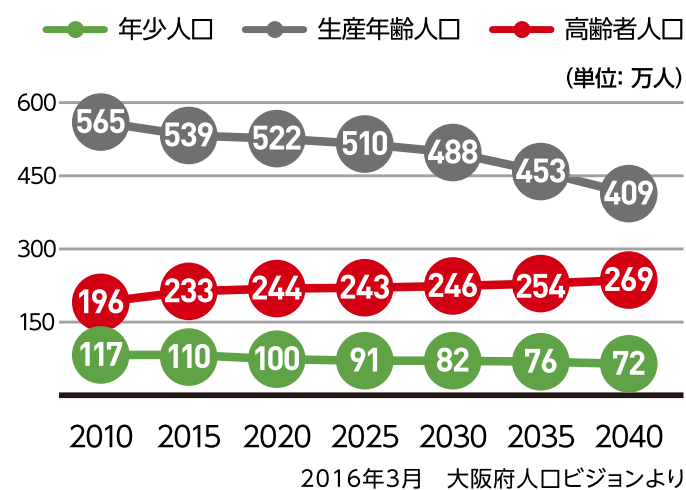
下水道事業の上下分離方式による民営化 など

- ◆ 府・市職員と民間との人材交流を進め、民間企業の前例にとらわれない自由な発想や時間コストに対する高い意識、事業分野別の最新の知見やノウハウなどに職員が直説触れる事で、これまでの**公務員意識を抜本的に改革**します。
- ◆ 特に民間企業の先進的なICT化の実例を吸収することによって**行政オンライン化や役所のICT化を推進**します。

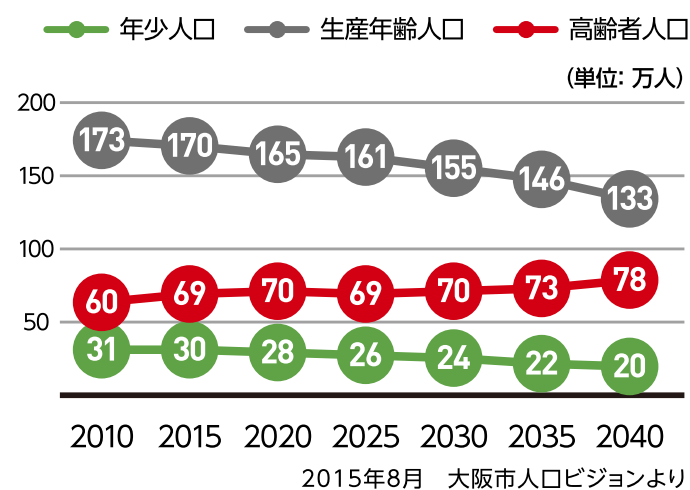
厳しい将来推計に正面から向き合う(参考)

大阪のみならず、全国の課題として少子高齢化、および人口減少の問題が挙げられます。大阪府・市は特に高齢化の割合が高く、このまま何もせずに将来を迎えた場合の人口推計では府・市ともに生産年齢人口が高齢者人口の2倍を下回る(一人の高齢者を支えるための現役世代が2人を切る)という報告がなされています。

大阪府人口ビジョン

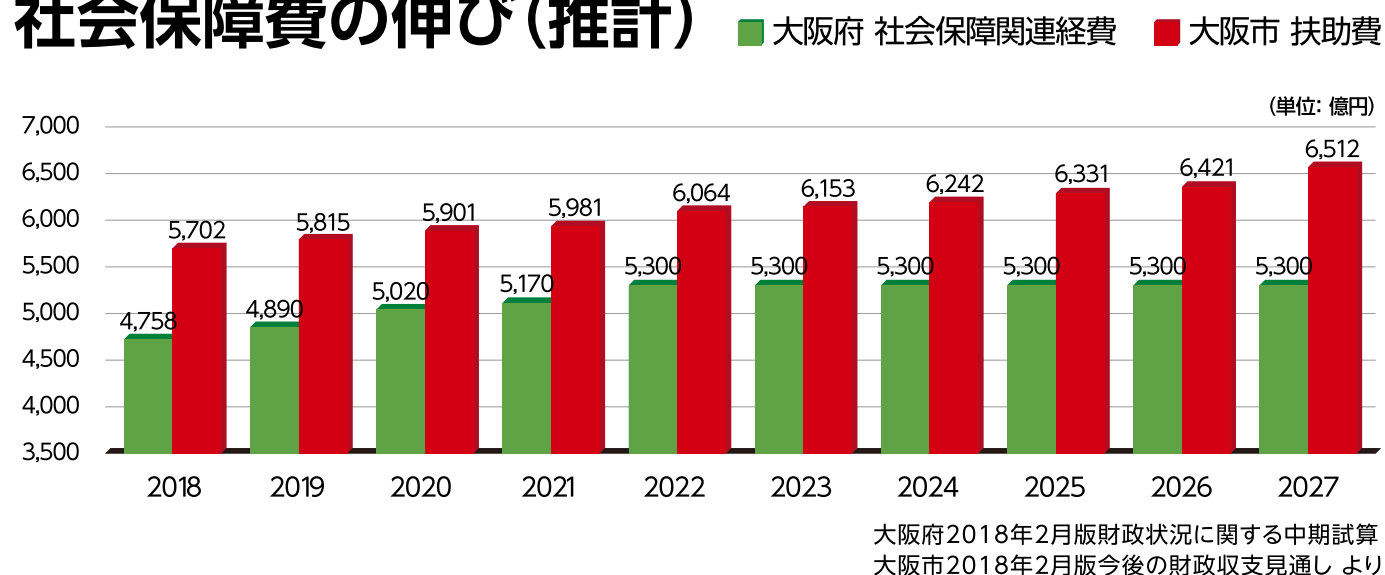


大阪市人口ビジョン



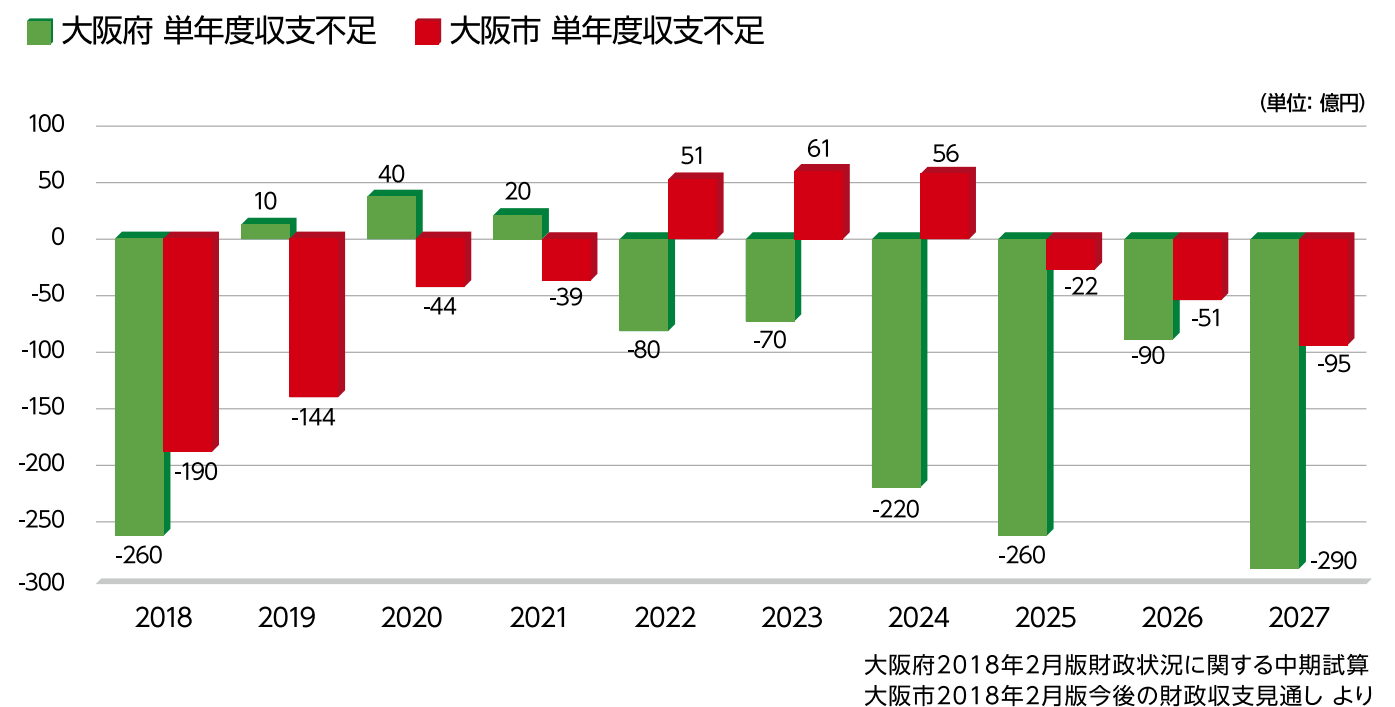
それに伴い、税支出に占める扶助費など社会保障費の額も今後右肩上がりに推移していきます。大阪府の推計値は2022年以降について積み上げ式の推計を行っていないため、便宜上横置きとなっていますが、実際には大阪市の推計同様右肩上がりで推移すると考えられます。

社会保障費の伸び(推計)



いま、大阪は市民・府民の皆様のおかげで知事と市長が同じ政党から選ばれ、税の無駄遣いである二重行政の解消と、成長戦略の共有による効果的な投資が進み、単年度収支不足は解消されていく見通しにあります。しかし、中長期的な将来には働き手が減少し、扶助費が増加していきますので、新たな政策を何も打ち出さなければ当然の結果として大阪府・市の単年度収支も再び赤字に転落し、その収支不足の幅は年々増加することが推計されています。

大阪府・市の単年度収支不足額(推計)



このような厳しい現実と正面から向き合い、市民・府民の皆様が安心して暮らせる大阪を実現するために、また、それを子どもたち、孫たちの世代に胸を張って引き継いでいくために、

大阪維新の会は

更なる身を切る改革を実現します。

他都市を圧倒する 「教育・保育・ 子育て支援」

未来を担う子どもたちのために...



子どもの貧困による「世代間連鎖」を断ち切るため、家庭の経済格差が子どもの学力格差とならないよう、地域の「子ども食堂」や「学習支援」へのサポートを行います。また、ひとり親の家庭の経済的状況が苦しくならないよう、養育費が確保できる実効性のある制度を整えます。



家庭の経済的状況に関わらず、質の高い教育を受けることができるよう、幼児教育の無償化、私立高校授業料の無償化を継続します。また、そのことにより、学校間の切磋琢磨を促し、大阪の教育力の向上を図ります。



待機児童対策は、これまでの既存の発想にとられず、保護者の様々な保育ニーズに応える環境を整え、保育士確保にも努めます。



児童生徒にとって、より良い学習環境を整備するため、学校配置の適正化を進めるとともに、災害時でも安全安心な学校施設となるよう、学校の統廃合や校舎施設等の集約化などにより、老朽化対策と学校施設の魅力化、高機能化を同時に達成します。



これからの未知なるグローバル社会を生きる子どもたちが、それぞれの個性や特性を最大限に伸ばせるよう、学校教育スタンダードの見直しや、多様な教育観の中から保護者や児童・生徒自らが本人に合った教育を選択できる教育先進都市を実現します。



大規模災害を想定した 「都市防災力の強化」

南海トラフ大地震や都市直下型地震などの
自然災害に備える。



- ◆ 南海トラフ巨大地震の発生に備え、津波対策としての防潮堤の耐震化対策等、公共インフラの整備促進を行うとともに、公的避難施設の機能強化を図ります。
- ◆ 密集市街地の総合的な整備を推進するとともに、住宅・建築物の耐震化を積極的に促進します。
- ◆ 災害発生時に迅速かつ安全に避難や災害弱者へのきめ細かい対応ができるよう、行政の危機管理機能を充実させるとともに、地域の防災組織の機能を強化するための支援を図ります。
- ◆ 大規模災害時におけるIT・SNSを活用した情報発信機能の強化及び連絡体制の構築を行います。



「健康長寿都市」の実現と 安心安全の街づくり 誰もが命輝く未来社会のデザイン

- ◆ 在宅療養が可能な
「地域包括ケアシステム」の確かな構築を図ります。
また、特定健診の受診率向上に努め
府民・市民の健康寿命の延伸に取り組めます。
- ◆ 医療・介護分野において不足する人材の確保に努めます。
また、在宅療養を支える訪問看護師等の
専門人材の処遇改善を図ります。
- ◆ 増え続ける認知症の早期対応など、
認知症高齢者支援の充実を図ります。
- ◆ 防犯カメラの設置推進や制服警官の立ち寄り警ら強化など
街頭犯罪のさらなる抑止に努めます。



未来を担う 子供が笑う大阪 ～橋下・吉村市政の継承～



児童虐待ゼロ

- (1) 児童相談所の増設
- (2) 保護施設の拡充
- (3) 一時保護の徹底
- (4) 保護解除の厳格化
- (5) 児童福祉士の計画的加配
- (6) 警察との連携強化など、
複合的に対策を強化し、
児童虐待ゼロ、を実現します。



待機児童ゼロ

子どもを産み、育てやすい環境の整備と、待機児童ゼロに向けた取り組みを推進します。質の高い保育環境の整備に向け、必要な監査、指導体制を強化するとともに、施設基準や、運用基準の規制緩和を進め、待機児童の受け皿の拡大を進めます。



幼児の教育費ゼロ

家庭の経済状況にかかわらず、すべての子供たちが質の高い教育を受けることができるよう、現在4歳児までを対象とする幼児教育の無償化を3歳児にまで拡充します。



いのち輝く未来社会をデザイン

～橋下・松井府政の継承～



都構想、IR、万博で先端都市・大阪を実現

「大阪都構想」(府市統合・特別区設置)の実現

大阪府庁と大阪市役所の統合・再編を行い、大阪を成長させるとともに、その成長の果実を、住民に身近な特別区における住民サービスの拡充につなげていきます。



先端都市(スマートシティ)戦略会議の設置

- 企業との連携も活用し、ICT、IOTの地域での実装を進め、次世代型の快適な都市空間の整備をします。
(高齢化団地での自動運転バス(MaaS)、介護ロボット、オンライン診療等で生活空間を改善)
- ICT、IOTを使い民間と行政のビジネスモデルを刷新
(子育て、防災用等のスマホアプリの充実、業務効率化など)



万博、統合型リゾート(IR)は先端都市大阪への入り口

- 万博では会場のみならず府内随所で先端都市大阪(スマートシティ)の姿を実装／実証
- 全国や海外のベンチャーなど未来型企業と協働し都市問題を解決しながら次世代産業を育成